

上福岡市・大井町法定合併協議会
新市名称候補選定検討委員会

平成17年1月5日(水曜日)
午前10時00分開会
大井町役場第2庁舎3階会議室

事務局 皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから上福岡市・大井町法定合併協議会の新市名称候補選定検討委員会を開会いたします。

開会に当たりまして、正副会長の方からそれぞれごあいさつをちょうだいしたいと思います。

初めに、会長であります上福岡市の武藤市長からごあいさつをちょうだいしたいと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

会長 それでは、皆さん、明けましておめでとうございます。皆様には、新年早々、お忙しい中お集まりをいただきまして、大変ありがとうございます。

さて、おかげさまで、予定しておりました協定項目の協議も大方整いまして、新市名を残すだけになりました。その新市名の募集につきましても、わずかな期間に多くの方々の投書がございまして、大変、ある意味で合併というものに興味をお持ちの方が多というふうにも受けとめられるかと思えます。本日の検討委員会は、この多くの皆さんの期待を背負って会議をしておりますので、ある意味では一層重荷を感じるかと思えますけれども、ひとつ皆様の、選定に当たりまして、どうかよろしくお願いをしたいと思っております。

とり年は実り多い年であるということがよく言われておりますが、上福岡市と大井町の合併協議も大きく実りありますことをご祈念申し上げまして、皆さんのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、簡単でございますけれども、ごあいさつにかえさせていただきます。よろしくご願いたします。大変ご苦労さまです。

事務局 それでは、引き続きまして、副会長であります大井町の島田町長さんの方からごあいさつをちょうだいしたいと思います。よろしくご願いたします。

副会長 皆さん、明けましておめでとうございます。新年早々の委員会を開催いたしまして、皆さん方にはご参会いただきまし

たこと、厚く御礼を申し上げたいと思います。

合併につきましては、特例の期限がいよいよことしの3月31日ということになりまして、この間に我々、なすべきことをなさなければならないということで、正月早々、気を緩めていられない、今そんな気持ちであります。皆さん方にもまだまだご苦勞をいただくこと、多々あるかと思いますが、どうぞこれからも変わらずのご指導とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げたいと思います。

本年がよい年になりますようにご期待申し上げまして、ごあいさつといたします。ありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。

それでは、早速議事に入りたいと思います。本日の議事につきましては、お手元の資料でございます会議次第に従いまして進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。失礼して座らせていただきます。

それでは、最初に、本日の会議の運営に当たりまして、委員長の選出ということで予定してございます。協議資料の1ページをごらんいただきたいと思います。議事の1番目ですが、当検討委員会の委員長の選出を最初に議題とさせていただきたいと思います。

なお、委員長の役割でございますが、委員長には、この委員会の会議の議長をお願いするとともに、この委員会を代表いたしまして、協議会での報告等をお願いするというものでございます。

そこで、委員長の選出に当たりましてですが、この方法についてお諮りしたいと思います。委員長の選出方法につきましては、皆様方の互選ということでお願いしたいと思いますが、委員の皆様にはご了解いただけますでしょうか。

〔「異議なし」と言う声あり〕

事務局

ありがとうございます。

それでは、ご了解いただきましたので委員長の選出につきましては、委員さんの互選ということでお願いしたいと思います。

特にどなたかご推薦、あるいは立候補ということも含めまして、ありましたらお願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

はい。

高野委員 私は小林先生がよろしいかと思えます。

事務局 ほかにいかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う声あり〕

事務局 ありがとうございます。

ただいま小林委員にお願いしたいということでご意見がありました。

それでは、ご異議なしという声もございますので、皆様の総意によりまして、委員長には小林委員を選出させていただきます。

それでは、議事の2番以降にあります議事進行に当たりまして、早速、議長であります小林委員長にお願いすることにしたいと思います。

それでは、しばらくお待ちくださいませ。

委員長 検討委員会の委員長、大任を仰せつかりました小林です。よろしく願いいたします。

早速議事の方へ入りたいと思います。

最初に、2の新市名称候補一覧の確認についてですが、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、委員会資料の1ページとなりますけれども、議事の2番目です。新市名称候補一覧の確認ということです。今回の新市名称候補の応募は、12月1日から12月20日まで、20日間という短い期間でしたが、ごらんのとおり資料にございますとおり、有効の応募数が2,118件となりました。応募媒体別では、官製はがきが1,230件、応募ボックスが756件、ファクスが75件、メールが3件、ホームページからが54件となっております。また、市町別の応募状況ですが、上福岡市に在住あるいは在勤、在学されている方が1,298件、大井町内に在住、在勤、在学されている方が818件。住所を書かれていない、あるいは勤務先が書かれていない不明の応募が2件となっておりますが、この中にはお一人で数点の応募をされた方も含まれてございます。この応募状況の全体集計につきましてはお手元に参考資料としてお配りしておりますので、参考としてごらんくださいませ。

資料の説明は以上となりますので、よろしくご確認の方をお願いいたします。

委員長

ただいま事務局から新市名称候補一覧につきまして説明がありましたけれども、全体の有効応募総数2,118件と2,000件を超えております。内容、内訳を見ても、費用のかかる郵便はがきを使ったものが1,230件と、新市名に対する意識の高さがあらわれているのではないかと感じられます。また、市町別の応募でも、おおむね上福岡市が6割、大井町が4割ということで、大きな偏りもなく応募が集まっているということで、公募ということ自体は成功したというふうに思います。

この件につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委員長

ありがとうございます。

議事の2点目の新市名称候補一覧は、委員さんのご確認いただいたということで、議事の3、選定基準の確認について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

それでは、委員会資料の2ページとなりますけれども、議事の3番目、選定基準の確認についてご説明を申し上げます。

今回の新市名応募の選定基準ですが、資料にございますように、漢字、ひらがな、カタカナで表記されました、読み書きが容易な名称で、名称の提案理由として、1として、まちの特徴をあらわし、1市1町の地域が容易にイメージできる名称、2として、1市1町の地域の地理・歴史・文化にちなんだ名称、3として、住民等の理想・願いにちなんだ名称のいずれかの条件を満たしているものとなっております。

また、名称候補として該当しないものとしては、上福岡あるいは大井など、既存の名称と同一のもの、2番目に、既に全国のほかの市で使用している名称、3番として極端に長過ぎる名称、4番として、現在使用していない漢字を使用した名称の四つを挙げさせていただいております。

今回の応募につきましては、おおむね選定基準に該当しておりまして、該当しないものとして掲げました四つの項目に

該当する応募はございませんでした。なお、この選定基準につきましては、合併協議会の第1回の会議で確認をいただいているところでございます。

また、資料といたしまして、全国での類似の市名、また表記がかわった市名など具体的事例を掲載しておりますので、参考としてごらんください。

資料の説明は以上となりますので、よろしくご確認をお願いいたします。

委員長

ただいま事務局から選定基準の確認について説明がありましたが、この基準は以前法定協議会で確認された内容でありますし、応募の際にも皆さんにお知らせした内容であります。本日は具体的な内容ということで、選定基準に外れるものや全国他市の事例の説明を今していただきましたけれども、改めて確認ということでもありますけれども、委員の皆様から何かこれについてご質問、ご意見等がございますでしょうか。

これはもう確認を法定協でもしていますので、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委員長

では、議事の3点目の選定基準は委員の皆さんの確認をいただきました。

続いて、議事の4で、第1次候補の確認ということで、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

それでは、委員会資料の4ページをごらんください。引き続きまして、議事の4番目、第1次候補の確認についてでございますが、資料にございますように、第1次候補を選定するに当たりましては、選定基準に該当する名称候補を応募総数順に並べます。今回は、先ほど説明させていただきましたが、選定基準に該当しないものは上位候補にはございませんでした。なお、もう一つの全体募集状況が、これが応募総数順となっております。

その後、上位候補の中から第1次候補を選定するという手順となっております。合併協議会の第1回会議では、上位30点程度ということでご案内させていただきました。しかし、この表の注書き、下の方に注書きございますが、応募総数2,118件に対しまして一定の割合で選考しませんと、際限

なく候補市名がふえていく。そうしますと、公募の意味合いが薄れるということもございますので、応募総数に対して約0.5%以上、ここで言いますと大体10票以上、2けたの応募数があったものということで、その市名を第1次候補としてご提案させていただいております。

内容につきましては、資料の順位1から12。16点となっておりますが、応募数第1位の「ふじみ野市」で全体の62.2%、2位の「栄市」で6.2%、3位の「大福市」で3.8%となっております。以下1.3%から0.5%の範囲での割合となっております。

参考までに、この応募数の第1位から第3位までで全体の応募総数の約72%に上るという結果となっております。第1次候補のご提案としては以上になりますので、よろしくお願いをいたします。

委員長 　　ただいま事務局から、第1次候補の確認について説明がありましたけれども、本来合併協議会の際に確認された第1次候補は30点程度を選定するという予定でした。しかし、説明にありましたように、応募状況から、ここに出ていないものは1けたになると。そこで、0.5%で切って、2けた、10以上の応募があったものということで、16候補を第1次候補として選定したいという内容でございます。

この内容について、委員の皆様からご質問、ご意見ございましたら、お願いしたいと思いますけれども。

いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と言う声あり〕

委員長 　　では、ないということで、いろいろなお考えがあると思いますけれども、0.5%という2けたというところをもって第1次候補とするということによろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委員長 　　それでは、議事の4番目の第1次候補につきましては委員さんの確認をいただいたということで、続きまして、議事の5の検討委員会候補の確認について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 　　委員会資料5ページになりますが、引き続きまして議事の

5 番目、検討委員会候補の選定についてご説明をいたします。

本委員会が新市の名称候補として選定する手順でございますが、資料にございますように、まず第1次候補、今ご確認をいただきました、この議事の4番目でいただきましたこの第1次候補、これは合併協議会の方でもご報告をさせていただきますが、このうちの上位3候補につきましては新市の名称候補とした上で、この3点以外から、必要がございますれば、委員の皆様のご協議によりまして数点程度追加すると。これを第1回会議ではおおむねのやり方として確認をしていただいたところでございます。この内容、上位3点に協議が調った場合の追加候補を含めまして、検討委員会での候補といたしまして、第4回の合併協議会に提案するという内容でございました。

資料につきましては以上となりますが、こちらに一応空欄で、本日決めていただいた内容の候補とする名称、また名称の振り仮名、そして検討委員会での選定理由、あるいは委員さんの附帯意見等をつけて合併協議会に協議提案するということとなりますので、この内容につきましてご協議をよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

委 員 長

ただいま事務局から、検討委員会候補の選定について説明がございました。

検討委員会の役割は、新市の名称候補を選定するということとございまして、選定された名称候補は第4回の次回の法定協議会に協議提案することとなります。

資料に、選定手順が から 、 と順番で書いてございますけれども、まず第1番目に、第1次候補の応募数の上位3点は新市の名称候補とするということとございますが、これはよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委 員 長

ありがとうございます。

まず、上位3候補につきましてはご確認いただきました。

続きまして、第2番目の委員協議の件でございましてけれども、上記3点以外から、委員の協議により2点を選定するという、この件について何かご意見等ございましたら。

小高委員　　これだけ上位で七十何%、下位で1.3から0.5、これだけ差がついてしまうと、もう3点以外からというのはちょっと無理ではないかなと考えられますのですけれども、この3点だけに絞ったらどうかと思うのですけれども。

〔「同意見です」と言う声あり〕

委員　長　　ほかの委員さん、どうですか。

副　会　長　　事務局に質問なのだけれども、　は法定協議会での確認事項でしたっけ。

事　務　局　　おおむねの手順としては確認をさせていただいておりますけれども、この内容については委員さんのご協議によりまして定めるということで確認をさせていただいております。

副　会　長　　だから、必ずしも2点を追加して5点にしなければならないという内容での確認はとっていないのですよね。

事　務　局　　そういうことではございません。手順の確認だけです。

副　会　長　　わかりました。

委　員　長　　よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委　員　長　　では、先ほどご意見ございましたけれども、　の上記3点以外からの委員の協議による2点の選定はしないで、　の新市の名称の上位3点にするということで、候補を追加するのではなくて、この3候補をもって検討委員会の選定候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委　員　長　　ありがとうございます。

それでは、検討委員会候補は、応募数の上位3点といたしたいと思います。

あと、選定理由につきましては、事務局の方からちょっとありましたけれども、住民の理想や願いという理由が大半を

占めていたということで、その内容となることでご了解をいただけますでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

委員長

ありがとうございます。

それでは、議事の5番目、検討委員会候補の選定について、委員さんの確認をいただきました。

以上、本日予定されておりました議事につきましては、すべて予定どおり終了いたしましたので、委員長の席をおろさせていただきます。

事務局

大変お疲れさまでございました。

それでは、本日の結果につきましては、先ほど委員長の説明にもございましたが、1月12日になりますが、第4回の会議に提案することになります。その際の細かい報告等につきましては、小林委員長の方にお問い合わせすることになりますので、詳細な点の打ち合わせにつきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

事務局

ありがとうございます。

それでは、大変スピーディーに審議いただきまして、ありがとうございます。

本日は大変お疲れさまでございました。

これをもちまして、新市名称候補選定検討委員会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。